

すみよし



*Christus resurrexit,
quia Deus caritas est! Alleluia*

2008年 イースター号 第174号

聖句

主よ、あなたが癒して下さいなら

わたしは癒されます

あなたが救って下さるなら

わたしは救われます。

あなたこそ わたしはたたえます。

エレミヤ 17-14



《 ペルージャの思い出 》

赤波江 豊神父

15 年前の今頃、私は日本を出てイタリアのペルージャという町でイタリア語の勉強をしていました。その年の秋からローマの大学で勉強しなければなりませんので、その準備としてイタリア語の学校に通っていたのです。ペルージャはイタリアの中間に位置する古いきれいな町です。

アシジのフランシスコで有名なアシジの町はペルージャから車で 30 分。フランシスコの時代はアシジとペルージャは敵同士でよく戦争をしていたようです。フランシスコもペルージャの捕虜になったことがあります。私も休日などにはよくアシジに行きましたが、アシジも世界中から巡礼者が集まる大変美しい町です。

ペルージャの中心部[11 月 4 日広場]には美しい噴水があり、いつも若い人たちで賑わっています。私が住んでいたのは広場に面したカテドラルの隣にある司祭の家で、そこには私と同じようにいろいろな国からイタリア語を勉強に来ていた司祭がたくさん住んでいまし。韓国、インドネシア、タイなど主にアジアの人たちで日本人は私一人でした。ここでいろいろな国の人たちとともに生活して友情をかわしたことは私にとって大きな恵みでした。もっともアジア人はお互いに概して言葉の覚えはそれほど早くないので私も安心でした…。

お互い片言のイタリア語で語り合いながら町を散策したり、おいしいアイスクリームを食べたり、日曜日に近くの教会にミサを手伝いに行き、習いたてのイタリア語で支離滅裂な説教をしたり、この半年間のペルージャの生活がイタリアで最も楽しい時期でした。ローマでは大学のイタリア語の授業がなかなか分からなくからなくて散々でしね

イタリアの春は本当にきれいです。郊外を散歩すると日本では見られないような草花もあり、目を楽しませてくれます。この時季街路樹として、濃いピンク色の梅のような花の木がいたる所でみられます。非常に色鮮やかでイタリアの町に似合います。なんでもパレスチナ地方の原産で「ユダの木」というらしい。どうしてユダの木なのかというと、あのイスカリオテのユダがこの木に首をつって亡くなったからだとか。妙な言い伝えです。

ユダのように失望しないでいつも主の訪れを待ちましょう。



(目次)

聖句	2
ペルージャの思い出 赤波江 豊神父	3
目次	4
松浦悟郎司教様ミサより	5
四旬節黙想会	9
成人式おめでとうございます	(10)
震災記念日のミサより	(11)
教会維持費について 財務チーム	(12)
俳句	11
教会新年会	(14~15)
聖人伝ルルドの聖女ベルナデッタ	12
イスラエル巡礼旅行	14
東ブロックリーダー合宿	(21)
教会学校遠足~保久良山~	(22~23)
自己紹介・どうぞよろしく	(24)
小野浜炊出しに参加して	17
図書コーナーより	18
信徒動静・教会日誌	(26~27)
後記	18

題字: 千葉健吉
表紙画: 南浮由美子

《 松浦悟郎司教様ミサより 》

1 月 20 日(年間第 2 主日)松裏司教様が住吉教会をご訪問、赤波江神父様と共に主日ミサを捧げられ、「前回の訪問は 2 年前で、新聖堂での司式は初めてです」と言われました。以下はお説教と教会学校の子供達、信徒からの質問へのお答えの抜粋です。

編集部

〔お説教より〕

* 福音記者が初めに強調したいこと

聖書には、マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネと 4 つの福音があります。イエスの出来事や奇跡が数ある中で福音記者が最初に何を取上げているかを見ることによって、その人が何を一番大切に思い、伝えたかったかが解ります。

例えば、ヨハネ福音の中ではカナの婚礼で水をぶどう酒に変えた事を最初の奇跡として書かれています。(最初とはギリシャ語で根源 = 一番大切な・・)「人を清める為においてあった 6 つの甕の水」をぶどう酒に変えたという奇跡を通して、人間による不完全な清めをイエスの十字架と復活による完全な罪の清めに変えたことを表しているのです、その根本的な出来事をまず福音の初めに置いたということです。それがヨハネにとっては一番大切な事だったので、

* 『神の小羊』の意味について

同じように今日読まれた福音(ヨハネ I・29～34)では、イエスの最初の行動を書いています。30 歳頃になられたイエスが、宣教を始める前に洗者ヨハネに会いに行きます、ヨハネはイエスが自分の方へ来られるのを見て「見よ、世の罪を取除く神の小羊」と言い、イエスが神の子であると証しするわけです。旧約を読んでいる当時の人々にはすぐ関連づけられる次の 3 つのことが思い出されたことでしょう。

「神の小羊」という言葉を聞く時、

イスラエルの民が、エジプトでの長い奴隷生活からモーセによって解放されたあの過ぎ越しの時、殺した羊の血を門に塗って救われ自由を得た。

イエスが弟子達と最後の晩餐のミサに臨まれた時、全ての人を罪から救う為に、自分が新しい神の小羊となって流した血によって人は清められると言われた。

イザヤの預言にある「苦しむ僕」の姿は、屠殺場に引かれて行く哀れな羊のように、人々の罪を脊負って死んでいかれる僕としての主の姿を現している。

黙示文学のこの世の終わりが書かれている箇所、神の羊が来て人々を裁くとあり、この事からもイスラエルの人々は小羊を察知する、

このように旧約時代に示されていた「羊」が、イエスによって全ての人を救う「神の小羊」として完成することを表しています。

* イエスと出会うことと「私の使命」

今日の福音で、洗者ヨハネは待ち続けていた救い主に会って、自分が何をしなければ

ならないかをはっきり知った。人は神に出会う事によって自分が誰なのか、何の為に生きているのかを理解し、その為に生まれてきたのであり、呼ばれている事を知る。

私たちが生まれた時、親が慈しみと愛を込めて名敵を前付けるように、神はこの世の全ての人に、このように生きて欲しい、神と出会うと欲しいと願っておられる。

それを「固有な召命」と言います。一人一人に呼びかけて下さる、名前を呼んで下さるその時、(人と人の中で生きていく)私にしかない使命とは何か...物事への感じ方や、他の人への思いを通じてどのように関わっていけばいいのか。神の前にたたずみながら、私はいつも自分がどうであるかを問うのです。

神は常に何かを私たちに呼びかけています。たった一度、一つの命を使って出来るその人にとって掛け替えのない使命は何か...ヨハネは自分の使命はイエスを現す事とはっきり知った。私たちの使命は、私たちの為に自分の命まで捧げて下さったイエス様を、自分の生き方を通して現していく事ではないでしょうか。

[司教様への質問より]



赤い帽子の意味は？落ちないのですか?...4年 Sさん

A 誰に聞いてもあまり意味ははっきりしません。昔、神父さんになる時、ちょっと髪を切る儀式があり、そこを隠したのではないとは思いますが(笑)。ユダヤ教の人とかぶるし、(司教の役割のしるしか)、神様に向かう時の心がまえかな。決まりとしては、入堂する時からかぶっていますが、ミサの奉献文(叙唱)から聖体拝領が終わるまでは御聖体がそこにある一番大切な時ということで取っています。それから、風の強い時は落ちますよ。裏地が皮になっていると落ちにくいです。

お誕生日はいつですか？何をしますか?...3年 Fさん

A 9月28日です。病院に聖堂があったので翌日洗礼を受け、霊名はその日の守護の聖人、大天使ミカエルです。最近は誕生日だといって何もしないなあ。夜になって「ああ、今日は誕生日だった...」と思い、ワインで回りの人と乾杯するくらい。覚えていたら手紙をくれたらうれしいな。(Fさんは、ちゃんと宛先教わったそうです)

司教様になって嬉しかった事は?...6年 Wさん

A 神父になった時はね、うれしくてうれしくて。今日から僕はずーっと神父!! 司教になった時は小教区の教会にいるのが好きだったから、正直言ってあまりうれしくなかったけれど、大阪教区の80位の教会に毎週行って、たくさんの人に出会える事はうれしい、小教区の教会にいる時は忙しくて夜もゆっくり出来なかったが、今は、予定が何も無い夜はゆっくり近くの銭湯こ行けるのもよかった事かな。

趣味は?...2年 Yさん

A お風呂です。40分位入ってる事もあって中でいろいろな事を考えたりします。音楽もとても好きで、友達からもらったグラビノーヴァという電子ピアノや、古いギターを弾いて楽しんでいます。

得意な事は? ...3 年 S さん

- A サッカー、卓球、音楽等、いろいろやりましたが、子供の時からあまり勉強しないで、空想や想像するのが大好き。だからいろいろアイデアが浮かんでくる。アイデアマンなんです。



なぜ若く見えるのですか? ...3 年 S さん

- A 私の年を知ってる? 今年 56 才ですよ。若く見える?なぜか解らないけれど。ありがとう!

今までで一番良かったお風呂は?...5 年 T さん

- A 冬に、長野に講演の仕事に行った後で入った大雪の中の露天風呂。たどり着くのは大変だったけれど、すばらしい雪景色の中でいい湯だった。



神父様になったきっかけは? ...5 年 Y さん

- A 小さいときから日曜学校が大好き。前の夜、母が作ってくれたお弁当のサンドイッチを、ミサで侍者した後食べるのもとても楽しみだった。サンドイッチなんて、普段は食べられない時代だったから。あ～日曜学校ってなんと幸せなんだろう。一生日曜学校だったらどんなにいいだろう!と思ったのです。

今までで一番思い出に残っている事は? ...5 年 K さん

- A (司祭になるときの)叙階式かな。それと、あまりいい思い出ではないけれど、学生時代、免許取り立ての友達に乗っていて交通事故、むちうちで病院に行ったことや、震災の時、たまたま長田区の実家にいて大変な経験をした事。

新約聖書と旧約聖書とどちらが好きですか?好きな聖人は? ... 5 年 K さん

- A それぞれいいけれど、新約の方が解りやすいのでいいかなと思います。

好きな聖人は、戦争中に、人の身代わりになって自分が死んでいったコルベ神父。小学 6 年の時に本を読んで感動したダミアン神父。ハワイ島の近くにあるハンセン病の人達が集められていたモロカイ島で、その人達のお世話をしながら自分もハンセン病になって死んでいった。(編集部注・兵庫県立美術館・脇浜・に舟越保武氏作のブロンズ像があります。ほぼ常設ですが入れ替えも時々あるようです。)

又、その人達の本を読んで下さい。

シルバー世代にどのような働きを類待されますか?...大人から

- A 高齢の方は、人生の経験からくる深い信仰をお持ちです。教会の基盤は、このような方々の、しっかりした揺ぎ無い信仰の上になりたっています。教会の大きな変化や、神父のやり方、信徒間の意見の食い違い等でおこる摩擦にも関係なく、ただ淡淡と「教会へ祈りに行く」という信仰を大切にしておられると思います。このよ

うな土台があるからこそ、教会は新しく変わっていただけるのです。

同じようなことば日本社会の中でも感じます。最近、「平和」について市民運動の方々に話しに行く事があります。ある集まりでは戦争を体験した90才位の方が日本が再び戦争に向かわないためにと来られました。最近の危ない動きを心配して戦争を経験した人々が二度とあやまちを犯してはいけなと立ち上がってきている。彼らは平和の土台だと思し、そのことを次世代にしっかり伝えて欲しいと期待します。

聖トマス大学で行われる「正義と平和協議会全国大会」について信徒に望む事は？

A この大会は、最初カトリックの中で社会活動に取り組む人たちの情報交換とネット

ワーク作りを目的に始まったが、最近は教会の全ての人達に関心を広げていこうという事で、開催地教区の主催になった。できるだけ多くの人たちに参加してほしいです。

本離れが言われますが薦めたい本は？

A その時々、一人一人置かれている状況によって薦めたい本は変わります。

最近では『私の手の中に赤ちゃんが』というアメリカの元海兵隊のアレン・ネルソンさんの証言を記録した本が心に残りました、又、小さい時、学校で薦められた「クオレ」にはたくさん考えさせられる話があります。その一つに、ある勇の子が自分の誕生日に友達を呼んだ。その友達が椅子を立った時、立った後のソファが汚れていた。汚れを払おうとした男の子の手をお父さんが止めた。後で「ソファが汚れていたのは、お前の同級生のあの子が、ここに来る直前まで働いていたから付いた汚れで、それは尊い汚れだ。その子の目の前で汚れを払うことは、彼の尊厳を傷つけることになる」...このような話は今でもはっきりと心に残っています。



四旬節黙想会 《回心: 心を開く、開いた心に神が住まわれる》



3月2日(日)ミサ司式(共同回心式も)と黙想会の指導に淳心会のハルノコ神父様が来られました。神父様はインドネシアご出身。ご家族から愛されて7人兄弟の末っ子として育てられた事、(今は神様のところで仲良くしているでしょう)と尊敬なさるご両親の事、離れて暮らしておられるご兄弟の事を、エピソードを交えながら話して下さいました。以下はたくさんの内容からの抜粋です。

編集部

黙想の1つの方法

心に神が住まわれるには、まず心を開かねばならない。それには沈黙が必要。神父様はイグナチオ・ロヨラが行っていた黙想のやり方を体験しましょうと言われ、

(本当は正座であるけれども)まず背中を真っ直ぐにして椅子に座り、靴は脱ぎ、手は膝の上におく。目を閉じる。自分の体だけ感じる。手を感じる。周りの音を感じる。目を開ける。

この沈黙とテーゼの歌を、お話の間の区切りにいれながらご指導下さいました。霊性を大切に作る為に一日一度でもすると効果的との事。

パウロのダマスコでの回心

パウロのこの話は使徒言行録に三回も語られているので(9:1~19,22:6~16,26:12~18)パウロの心の体験を大切にしたい。

「目が見えない」という表現は暗闇にいる閉ざされた心を意味し、その暗闇の中で心の巡礼があり、救いのプロセスである光に出会う体験は復活と同じ感覚である。又、律法から愛への乾換でパウロは以後迫害する者から迫害される者として生きたという事である。

このプロセスから学んだことは

愛の大切さ

弱さにおける強さ(第二コリント 11:9~10.)

十字架のかたちについて

「住吉教会の十字架は上が短いね。昔はT字かもしれない」と神父様。ある研究では、縦棒は既にゴルゴタの兵の手で立てられていて、処刑される者は棧の棒だけ担っていったともいわれています。これは横の棒は一人一人違う自分の十字架を背負って自分のペースで(人の支えが欲しい人、しょっちゅう休む人等)持って行きなさいという意味で、神様は待っていて下さるのです。

イエスの十字架の体験から学ぶ事は

あわれみ深い

聖書では病んでいる、差別されている、死んでいる小さな人々に対して必ずイエスのあわれみが現れている。

戦う姿・実行する力(ただ傍らにいてあげるだけでも)

希望をもたらす生き方

十字架の道を通らなければならないときに自分の力ばかりに頼らず、神の力を信頼しながら、苦しみの向こう側に待っている光に希望を持つこと。

心を開くとは、見たい人は見えない人に学び

心を開くとは、話したい人は声がない人に学び

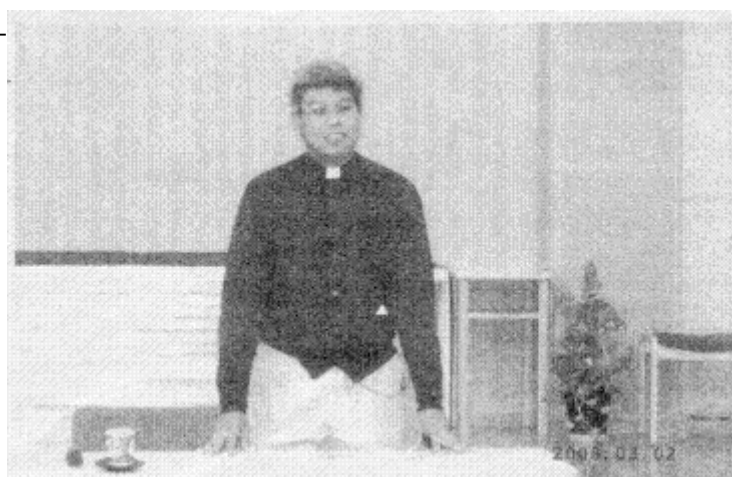
心を開くとは、聞きたい人は耳が聞こえない人に学び

心を開くとは、何でも欲しい人は何も無い人に学び

心を開くとは、命を得る人は苦しんで命をかけた人に学びなさい

あなたは一人じゃない

詩・ハルノコ神父



歳々に春を待ち春を迎えて

囀りや聖フランシスコに思い駿せ

(昭和六十二年四月)

地震の朝分け合ひて飲む寒の水

(平成七年一月)

初日射す聖書の上の老眼鏡

(平成十一年一月)

一部屋で事足る老いの冬籠り

(平成十二年二月)

成人式茶髪長髪丸坊主

(平成十四年一月)

啓蟄や杖にすがりてポストまで

(平成十五年三月)

若竹や曾孫の背丈われを越す

(平成十五年五月)

庭箒立てかけしまま冬籠り

(平成十六年一月)

新雪をしかと踏みゆく朝の弥撒

(平成十八年一月)

富士を彫る銀盃に屠蘇なみなみと

(平成二十年一月)

聖人伝 《ルルドの聖女ベルナデッタ》

4 月 16 日は聖ベルナデッタの祝日です。
「ルルドの聖母マリアご出現」の奇跡によって
聖ベルナデッタは 19 世紀の聖人としてよく知ら
れ、親しまれています。今年はルルドの
ご出現から丁度 150 年目にあたり、記念の
イベントや巡礼等が計画されています。



1858 年 2 月、北フランス・ルルドの
マッサビエールにある洞窟で、聖母マリアが
14 才の少女ベルナデッタにお姿を現わされ、
眠つたようにひっそりとしていた寒村は
全世界に知れわたるようになりました。

当時、聖ベルナデッタの父親は失業中で、一家は極貧の生活でした。ベルナ
デッタは体も虚弱で、満足に学校に通うことも叶わず、当時の貧しい家庭の子
供と同様に、毎朝羊の群れを野出に連れ出し、その番をして家計を助けていま
した。その平凡な少女に突然、「神の御母聖マリアご出現」という奇跡がおきま
した。その貴婦人は真白い衣服の上に空色の帯(サッシュ)をしめ、手には白
いロザリオを持ち、二つのバラの花の上に立たれて、眼は天に向けられていま
した。ベルナデッタも常日頃親しんで使っていたロザリオを手に、その場にひ
ざまずいて一緒にお祈りを唱え始め、お祈りが終わると同時にお姿は消えてお
りました。マリア様は合計 18 回ご出現なさいましたが、周りの人達にはなか
なか信じて貰えませんでした。お姿はベルナデッタにしか見えませんでしたし、
お声も彼女にしか聞こえなかったからです。ご出現の時ベルナデッタが「あな
たはどなたですか?と尋ねると『わたしは原罪無くしてやどった者です
(Immaculate Conception)』というお返事。それでその方が「聖母マリア様で
ある」と心ある人々は信じたのです。当時 19 世紀の中頃、人々の信仰生活は
惰性的となり、世間は無神論説、唯物主義などに支配される傾向にありました。マ
リア様は、「この場所に聖堂を建て、多くの人達がこの地に集まってほしい。
私かそう望んでいることを司祭に告げなさい。」とベルナデッタにお告げになり、
やがてその地には聖堂が建てられました。

ルルドは徐々に聖地として知られるようになり、大勢の人々が巡礼に訪れ、
多くの奇跡がおこり、世界中に伝わっていきました。

聖ベルナデッタは、数々の試練を経て念願の修道院入会を許されましたが、
多くの心身の苦しみを忍耐され、34 才で天の御父の許にお帰りになりました。聖母

マリア様をご出現の際、「ここを掘るように」と云われた所から流れ始め
た泉は、今もこんこんと湧き続け、「聖なる奇跡の水」として無数の人たち・・・
人種、国籍を問わず信じる人々を癒し続けています。しかし、遠い国々から

日本の多くの教会、特にこの神戸の全ての教会には、(フランスご出身の神父様が設立なさったせいか、ルルドのご像がありました。この住吉教会にも以前は大きな岩石を使った見事な洞窟がありました。幼稚園の園児たちは門の前のマリア像に手を合わせて祈ってきました。

彼らが成長して親となって、その子ども達と一緒に祈ってゆく。この素晴らしい伝統、習慣が長く続いていく事を願っています。

「聖母マリア様、どうぞ全世界の子ども達をすべての悪からお護りください。
アーメン」

ルルドの泉
澄み渡った秋晴れの朝
南フランスの緑濃い山の中に
ルルドの泉を受けて
この手よ幸せ
清くなれ
すこやかになれ
さらに大きくなって
人々に恵みの水を分け与えよ



天の父さま
だまっている後姿が
暖かい人にして下さい
子どもるとき
あるきつかれて
おんぶってすがった
お母さんの
まるい背中のような

《イスラエル巡礼旅行》

TK

2月1日(金)～8日(金)に神戸バイブルハウスが主催する「第3回聖書と教会を訪ねて・イスラエルの旅」という巡礼旅行に参加しました。毎年開催されるカトリックとプロテスタントの信徒が共に旅するエキュメニカル(教会一致)の集いです。住吉教会から5名が参加しました。巡礼の旅は、真冬には信じられないくらいの決晴と温暖な気候に恵まれ、皆が和気藹々と、全員が無事旅程を全うする素晴らしい道行となりました。

バイブルハウスの理事長をされている池長大司教様が参加され、80名という大所帯となりました。今国は大阪大司教区の諸教会、さらには東京、千葉、神奈川、愛知、広島など広域のカトリックからは33教会、プロテスタント各教からは9教会にそれぞれ所属する信徒や一般の方々が参加されました。

旅程では毎日ミサと礼拝が組まれており、開始時間も重ならないように、どちらにも自由に出席できるように配慮されていました。今回の巡礼で、特に心に残ったミサと礼拝について記してみます。

* 「山上の垂訓教会」での野外ミサ

第三日目の2月3日(日)は朝早くガリラヤ湖畔で日の出を迎えました。

ペテロ首位座教会等を経て、山上の垂訓教会に到着しました。

教会に隣接した野外の礼拝所で、池長大司教様の司式による年間第四主日のミサが行われました。参加者が全員出席しました。

福音の朗読では、奇しくも、「マタイによる福音」(5-1～12)「・・・心の貧しい人は、幸いである。天の国はその人たちのものである・・・」の山上の垂訓の箇所が読まれ、参加者全員が当時を髣髴とさせる、この山上でのイエス様の説教を思い起こしながら、感慨深い、臨場感あふれるミサに与かりました。澄み切った青い空、眼下にガリラヤ湖を見下ろす丘の上で、爽やかな風に吹かれながらのミサは本当に心が洗われるような心地よさでした。



山上の垂訓教会の庭で

* ナザレ・「受胎告知教会」大聖堂でのミサ

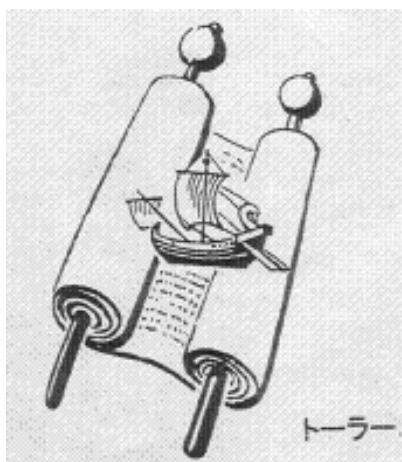
第四日目の 2 月 4 日 (月) はカナの婚礼教会を経て、ナザレに入りました。ナザレの受胎告知教会では、広大な聖堂内の、「マリア様のお告げの洞窟」前の祭壇で、大司教様によるミサが行われ、みんなで出席しました。



聖堂の上の方から、多くの外国人観光客がミサの光景に見入っていました。その内の数人がミサに参加して、大司教様からご聖体を拝領しました。ナザレの地で、ともにミサに与かる喜びと連帯を感じました。

* エルサレム「園の墓」での礼拝

第五日目の 2 月 5 日 (火) は、エルサレムの「園の墓」で、今回の旅行の団長である錫島 猛先生 (日本イエス・キリスト教団鈴蘭台福音教会牧師) による礼拝が行われました。園の墓を眼下に収める野外の、木漏れ日があたる静かな佇まいの中で、皆が心を一つにして、聖書の御言葉に耳を傾けながらの祈りに、みな癒され、心満たされた礼拝でした。

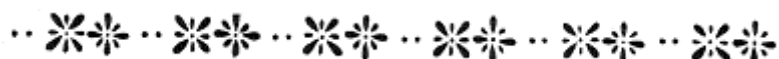


* 四旬節 (灰の水曜日) のミサ

第六日目の 2 月 6 日 (水) は四旬節「灰の水曜日」を迎えることになり
大司教様によるミサ様が、ホテルの中にあるシナゴークで行われました。
この日はエッケホモ教会からピア・ドロローサを通り、聖墳墓教会に至る道
をみなで辿りました。ちょうどこの時期に、この地を訪れたことは、四旬節、
聖週間を迎えるにあたっての心構えをより強くするのに、本当にいい機会にな
りました。



* 神戸と横浜に日本で最初に外国人によって設立された、バイブルハウスが、
2003 年春、実に百何十年ぶりに神戸で再開されてから、カトリックとプロ
テスタント各教派がエキュメニカル (教会一致) な面で着実に交流を深めてい
ることば日本国内でも、世界でも、非常に稀な貴重な姿といえます。
このたびの巡礼は、参加者全員が、ともに祈り、親しく交わることが実感で
きた素晴らしい族でした。
この大きなお恵みを与えて下さった神様に心から感謝を捧げます。



2 月 3 日 (日) 日本 26 聖人殉教の日・聖パウロ三木のお祝 (ミサ後お善哉でお祝いし
ました。)

病者の塗油の秘跡

2 月 10 日 (日)

気になる病気を持っていたり、入院する前や
年を重ねて心の中に平和の恵みを頂きたい時、
また、「御むねであれば健康でいられるように」
とミサの中で秘跡が授けられました。
シリ口神父様も「71 歳になったので塗油
を受けました。うれしく神に感謝です。
今日受けられなかつ方はいつでも遠慮
なく司祭に連絡してくださいとの事です。



《小野浜炊出しに参加して》

編集部

カトリック社会活動神戸センターが、毎週火、木、土実施している小野浜での「炊出し支援活動」の住吉教会の当番日は、原則第 1 土曜日です。社会活動チームの K さんの呼び掛けに誘われ、3 月 1 日(土)に参加しました。9 時 40 分に教会出発。今回は Y さんが車の送迎を引き受けて下さり、楽々小野浜へ。心配だった早朝の雷雨はどこへやら・・・風は少し冷たかったが良いお天気!!今日の当番・住吉の手伝いは 5 人だが、センターの方や手伝いのおじさん達を入れて合計 18 人(滋賀県からの訪問者数人も手伝って下さりいつもより多いとの事)

住吉の定番メニューは暖かい豚汁とご飯です。みごとな手順で準備は進められ、山のような野菜その他の材料はやがて大鍋に。ご飯も大釜 3 個。それらが炊き上がる頃には沢山の人が行列を作り、出来立てあつあつのランチを、思い思いの場所でおいしそうに食べて下さいました。今日は 180 食程出たとか。

準備も洗い場も片付けも全て一緒にして下さる数人のおじさん達は、実に手馴れたもの。味噌を袋から出すときの私のやり方を見かねた一人の方が、実に合理的なムダのない方法を教えてくれました。(あんな、ほんまに主婦やっとするんか...と思われた?かな)

受け取る時には殆どの方がお礼を言って下さるし、センター長の「全て皆さんの心からのプレゼントですから残さないようにしてくださいね。」との言葉を守り、ご飯の量も「少なめに」とか、たくあんも「いらぬです」とか最初に言って下さるので一つのムダもありません。汚れた食器も自分でざっと洗って、消毒液に漬けるところまではしてもらルールだそうです。今日はオレンジ 1 個と飴 2 個のご寄付もあり、おみやげになりました。寒い日も暑い日も雨の日も続けておられる皆様に尊敬し、又、いろいろな方々と一緒に準備した品がきれいに無くなるのをみてうれしくなりました。

次回は 4 月 5 日(土)です。ということは・・・そう!春休み中!若人よ、お手伝いに参加してみませんか。おいしい豚汁が作れるようになりますよ。そして皆様...月 1 回、土曜日の半日です。たくさんの方が参加してくだされば数ヶ月に 1 回になります。

手伝える時は元気で、そして時間が出せる幸せな時...」

手はまだまだ冷たかったけれど、後で頂いた豚汁のおいしかった事...感謝!!



《図書コーナーより》

ご紹介する本は全て、2 階の図書コーナーにあります。どうぞご利用下さい。



「ママの手催眠術みたい」 子供のつぶやき 育ての心

松屠直(ただし)・編 女子パウロ会発行

この本を読みますと、子供たちの口からもれる直感的な言葉は、幼い子らの特権だとい

う事が思われます。子供の言葉に共感する大人がいる子供は幸せです。

その幸せを感じた子供は、生きがい感と人への信頼に気付き、愛はそこから生まれるとい

う内容が、共感を覚える珠玉の一冊です。

(子供たちの口からもれる、直感的な言葉は、新鮮な命の輝きだ。お母さんの心に送る、さわやかな風...本の帯より)

『ペトロ岐部と 187 殉教者』

日本カトリック司教協議会列聖・列福特別委員会・編

列福が正式に決定した 188 名もの殉教者。この書は彼らの生涯と信仰を、簡潔に紹介しています。神への愛を証しする為に、過酷な迫害にもひるむことなく、信仰を守り通した全国各地の殉教者達。今年 11 月に行われる列福式に先立ち、このすばらしい栄誉を受けられる方々に思いを馳せる事が出来ます。

《後記》

ことしの復活祭は 3 月 23 日で例年よりはよいようです。それで、ついこの間

「クリスマス号」づくりを皆でがんばったような気がしています。

うれしいことにチームに若いメンバーがおひとり増えました。感謝。

チームの平均年齢が少し若くなりました。 堀(ア)

「すみよし」第 174 号

発行日: 2008・3・23

編集・発行: 広報チーム

編集責任者: 竹内和美

発行所: 神戸市東灘区住吉宮町 2-18-23

カトリック住吉教会

TEL: 078-851-2756

FAX: 078-842-3380

<http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp>

製版・印刷: 信徒有志

